

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する そして共に幸せ～

いなほ
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.7

令和4年6月10日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>

一歩踏み出す「実行力」とそれを続ける「継続力」

夏休みを前に「今年は100km走破するぞ!」とか、新年や新年度に「週末は一日最低30分の筋トレをする」とかいう高い誓い・目標を立てるということがよく行われます。そして、始まってしばらくして挫折したり、終わってみれば目標には程遠かったりして自己嫌悪に陥るのに、なかなか学習できずに同じことを繰り返してしまうということはないでしょうか。

上述の反省は、まさに私自身のもの。でも、ひとたび達成感や自己肯定感が得られてプラスのスパイラルが動き出せば、物事に挑戦する「実行力」と粘り強く取り組む「継続力」が身につくように思うのです。こういう状態にあるときは、多少失敗しても、諦めずに最後までやり抜くことができるものです。こうした力は「非認知能力」と呼ばれ、この先どんな社会(時代)になっても生き抜くために必要な力だといわれています。子供たちが大人になったとき、どんな知識や能力が必要になるかまで予想ができません。ですから、学校では「自己肯定感」を味わい、自ら考えて行動し続けることができる子供たちを育成していきます。

勉強をしたほうがよいことはわかっているのに、誘惑に負けて楽しさゆえにゲームなどに興じてしまうことがあります。これを「過剰行動」といい、逆に勉強などのやるべき行動を「不足行動」というそうです。こうしたことを研究する、行動科学マネジメント研究所の石田淳所長は、「不足行動」の実行を促すには次の3つの方法があると話しています。

(1) 最初の目標は、理想の1/10に抑える

「〇〇ドリルを一日30問やる」ではハードルが高いため、「一日3問」と確実にできる量にしながら、徐々に増やしてみる。ご褒美シールなどの用意もモチベーションアップにつながります。

(2) サポーターをつくる

応援をしてくれる人がいることは、行動を継続しやすくします。保護者や友達にサポーターになってもらい、目標を宣言して共有するのもよい方法です。「禁煙宣言」もこの類でしょうか。

(3) 自分の成長を“見える化”する

行動した量を数値に置き換えてグラフ化すると、自分の頑張りが一目瞭然となり、やる気の維持につながります。

重要なのは、実際に行動可能なことだけを目標にするということです。何事もはじめの一歩が大事で、その一歩が大変だからです。ハードルを下げるためにも行動の質や量を求めすぎず、まず始めることです。小さな階段を踏んでいけば、「できる」ことが「自信」になり、「楽しさ」や「達成感」が生まれます。「自己肯定感」も自然に育まれます。

多くの子供たちが、将来なりたい職業に挙げる「ユーチューバー」で人気がある人も、苦しい時もあきらめずスモールステップを大事にしてきたはずで、将来的には様々な職業が淘汰され、新しいものがきっと生まれます。その時に変わらず求められる力が、「実行力」「継続力」なのでは…?

土曜参観（オープンスクール）の授業予定について

過日お伝えしました、学習参観の各学級の授業予定をお伝えします。密を避けるために、各クラスの参観グループを3分割、各家庭1名としています。5月25日に配付の手紙にてご参観時間帯を確認の上、ご来校ください。なお、当日の学習内容は教室入口に掲示します。

令和4年6月25日（土） <4時間授業・給食あり・13時10分下校>

	2校時 (9:15~10:00)	3校時 (10:35~11:20)	4校時 (11:25~12:10)
1-1	国語	算数	道徳
1-2	算数	国語	道徳
2-1	道徳	学級活動	国語
2-2	国語	道徳	学級活動
2-3	学級活動	国語	道徳
3-1	算数	道徳	理科
3-2	算数	道徳	理科
3-3	算数	道徳	理科
4-1	社会	道徳	算数
4-2	算数	社会	道徳
4-3	道徳	算数	社会
5-1	道徳	算数	国語
5-2	道徳	算数	国語
6-1	算数	道徳	国語
6-2	算数	道徳	国語
たんぼぼ1	/	道徳	合同体育
たんぼぼ2		道徳	
たんぼぼ3		道徳	
たんぼぼ4		道徳	

- ・できるだけ徒歩でお越しください。当日徒歩の場合は各門からの出入りが可能となっております。
- ・事情があって自転車で来校される場合は、体育館前の所定の位置に停めてください。
- ・校庭は自転車での走行を禁止としています。自転車にてご来校の方は、正門（赤い門）からの出入りをお願いします。
- ・ご来校の際には、名札・マスクの着用、ならびに上履き（スリッパ）等を持参してください。また、手洗いや手指消毒にご協力ください。
- ・校舎へはお子様の昇降口からお入りになり、下足を置く際にはお子様の下足箱をご使用ください。
- ・各教室へ入る際には、入口前の受付名簿に、どなたが来たのか必ず記入を済ませてから、お入りいただくようお願いいたします。同一時間帯に家族2人以上が校舎内に立ち入ることはご遠慮ください。
- ・乳幼児をお連れになる場合は、お子さんの手を離さずに参観していただくようお願いいたします。
- ・参観中の学級内・廊下等では、私語を控えてくださいますようお願いいたします。
- ・学習参観中の写真・動画等の撮影は禁止となっています。ご協力ください。

以上、ご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。